

## 第8 1回科学教材開発研究会報告

2021年1月16日（土） 14：00～16：00

ところ 福井県立こども歴史文化館 体験ルーム 1

参加人数 3名

今回の大雪は北陸地方、特に福井地方にかなりのダメージを与えたようだ。この研究会も開催を危ぶまれたが、敢えて行うことにした。

工藤

### ●アーティスティックスイミング(工作)

以前に「太郎さん次郎さん三郎さん」として紹介したことがある浮沈子である。工藤の2月のワークショップで「アーティスティックスイミング」として登場するので、皆さんにも再度制作・検討いただいた。3人のスイマーが揃ってくるくと踊り回りながら上下するところがおもしろい。くるくると回るのはジェット噴射によるものであるが、ストローを使った浮沈子にジェット噴射を導入するアイデアを私に教えてくれたのは谷川商会の元社長である。



アーティスティックスイミング

### ●ジャンボ・アーティスティックスイミングの紹介

大型のアーティスティックスイミングをこしらえた。写真右がこれまでの6ミリのストローを用いたスイマーで、写真左の大きいボトルに入っているのがジャンボスイマー。大きいスイマーも小さなスイマーと同様にくるくとよく回り、よく動く。



ジャンボ・アーティスティックスイミング

岸下さん

●立体キューブパズル（工作）

ブロックを結合させて遊ぶキューブパズルの制作。キューブを結合して作るパズルなので、木目の組み合わせを楽しむことができる。

少々難しい立体問題が全部で20ほど用意されていたが、研究会にはじめての参加者Tさんはいともたやすく全問解答を成し遂げた！



キューブパズル

すずめ

今回は発表が少なかったので、すずめに登場していただいた。近頃はすずめの数が激減しているという。原因はわからないが、農薬の使用、病気、他の鳥や天敵、霞網による捕獲などいろいろ考えられそうだ。

我が家には大雪がやって来てからすずめが大挙して訪れるようになった。例年なら、米、蕎麦が終わった頃からやって来るのだが。分かりづらいかもしれないが、窓外の格子に取り付けられている餌箱はからすにつつかれないようにケージで囲まれている。ケージは4センチ幅の金網なのですずめの出入りは自由である。



すずめ